フェニックス通信 第2号

新人研修報告

３月２６日から１５名が当院に配属になり新人研修が始まり１ヶ月経ちました。全員が元気に過ごしています。皆様の協力と教育委員たちのがんばり、多職種や各メーカーにも支援していただいて計画通りに進んでいます。ありがとうございました。

教育委員とプリセプター（一部）です

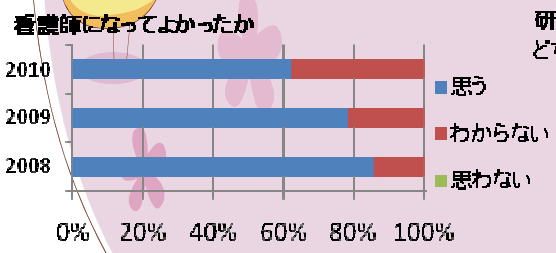
インシュリンや血糖測定、AED等はメーカーさんの講義を受けたあと教育委員とともに演習しました。

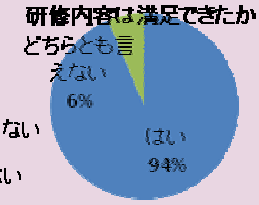
ちょっと難しかったですが救急対応と十二誘導心電計の演習もしました。

1ヶ月の振り返りは。座談会形式で行いました。臨床心理士の金安さんにも参加していただいて、コメントをいただきました。

環境の変化で不安定な気持ちで「何もできていない」と思いがちですがなにかしらやれているものです。経験し続けることでやりがいも見つかりますよ！（金安）

１ヶ月新人アンケート結果

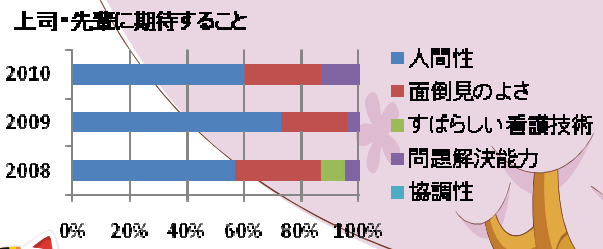


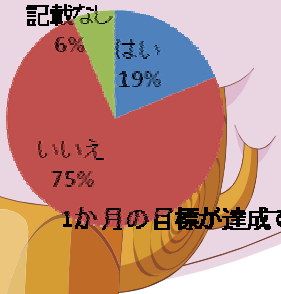


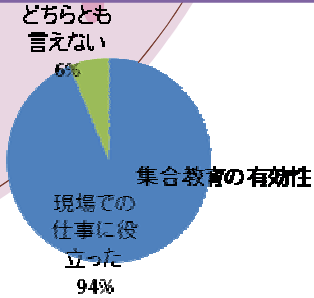
学生時代とのギャップ:
看護師がやさしくて聞きやすい。丁寧に指導してくれる。患者を複数持ててt勉強になる。患者にできることが増えた。患者とコミュニケーションをとる時間が少ない。･･･

うれしかったこと:
多くのことを体験して学べること。仕事を任されたこと。学生時代にしてはいけなかったことができる。患者に「看護師さん」と言われたり感謝されること。

今困っていること:
緊張していて疲れがとれない。わからないことが多すぎる。先輩方に迷惑をかけていると感じる。･･･







編集後記

新人が入職して1ヶ月が経ちました。学生時代とのギャップや環境の変化に戸惑い、不安なことも多いようですが、様々なことを経験し、きらきら笑顔で頑張っています。1ヶ月のアンケートを見ると、ナースコールに出ていたり、電話で名前の前に学生の‥つけなくて良かったり、看護師と同じユニホームを着ていたり等、学生時代にはできなかったことを普通にしている自分が嬉しかったりやりがいになったりしているようです。失敗したことや、うまくできなかった結果ばかりに目が行きがちですが、まずは結果にこだわらず看護を体験した“喜び”“やりがい”を実感することをたくさん体験させてください。看護する喜びは、指導者にとってもかけがえのないものになるでしょう･･･。皆様の支援を受けながら、新人や関わる皆様が少しずつステップアップしていく姿を「妄想」しています！

樋口

H22年5月10日発行